

泉区の即戦力

かじむら 充 の実行！！

深谷通信隊の跡地利用を推進します

平成16年10月に返還方針が合意された深谷通信隊は直径約1kmの首都圏における大変貴重な大規模空間資源です。

平成21年度に実施された「跡地利用アイデアコンペ」の作品を参考に、区民の皆様の笑顔が溢れる泉区らしい自然豊かな空間を目指すとともに、早期返還の実現を求めて強く訴えてまいります。

緑園地区中学校の設置の実現

緑園地域には、緑園東・西小学校の卒業生を受け入れる中学校がありません。そのため学区内中学校には進学せず、横浜市の中でも一番の大きな比率で私立中学校へ進学をしているというのが現状であります。

地域では中学校建設の必要性を求める声が増しに広がっております。

適正な教育環境の整備や教育力の向上、コミュニティーハウスを併設することによる地域交流の発展、また大規模災害における医療拠点の確保等を目指し、地域の皆様の中学校建設を求める声をカタチにしていきます。

「トピックス横浜」

- ※ 横浜市の100歳以上高齢者の所在が確認できない人・・・明治44年4月1日以前の出生者・・・
横浜市に住民登録をしている100歳以上の方は、1,298人(泉区は36人)です。横浜市の調査によりますと、そのうち所在が確認できない人は 38人(泉区は0人) だそうです。
99歳から120歳までの年齢層になっています。今後の対応としては、35名ははっきりと、住民基本台帳から抹消し、残りの3名は今一度ご家族と対応していくとのことです
- ※ 防犯灯のあり方検討会の提案・・・設置基準のまとめから・・・
 1. 犯罪予防のために必要なところには設置するが、それ以上には設置しない。
 2. 設置申請は、自治会町内会当地域の代表者が区役所に。多数の市民が通行する道路に限定。
 3. 終夜点灯する街灯との間隔を、原則25メートル以上とする。
 4. 総設置数の削減をめざし、LED灯に更新する。
 5. 維持管理のあり方として、当面はLED灯にしたものから、順次、横浜市の所有とすることが望ましい。ただし、灯具の点検、清掃は、防犯活動の一環として自治会町内会が取り組むことがよい。



みつる かじむら 充

市政レポート

まず地域、まず暮らし。

平成22年10月 第20号

討議資料

発行 自民党泉区連合支部

〒245-0013

横浜市泉区中田東3-16-1

TEL045 (806) 1051

FAX045 (806) 1053

通学の安全を



子供達の通学路を安心して
安全灯の設置を「和泉町」

写真の和泉町の一角に「安全灯」(自治会・町内会の区域から外れているため、また維持管理を行う団体が特定できないため防犯灯が設置されないエリアに、また暗くて通行に支障がある場所とか、防犯上不安のある場所とかに設置する照明)が、この秋に設置が決まりました。

「安全灯」は市民からの設置要望を受け横浜市道路局が設置し、維持管理も致します。この道路は横浜市道でありながら今までは照明の一つもありませんでした。下和泉小学校の子供達が通学の行き返りに利用するスクールゾーンであります。これからの季節は暗くなるのも早く、部活等をする、全く暗くて車の数多くとおる道路に迂回したりしなくてはならない道路でした。ご両親や祖父祖母の皆さんが心配しながら、朝早くから夕方遅くまで、「子供達の安全を確保する」ため見守り隊として「一生懸命頑張っておられました。そして本当に早く灯りがほしいと、強く訴えておられました。ここで電線を新たに引き、高圧ナトリウム四〇ワット灯が三個付くことになりました。

「泉区に即戦力」

◎ 前横浜市会議員(3期)

◎ 横浜市会での各委員会委員長

◎ 自民党横浜市連での政務調査会長(2期4年)

プロフィール : 生年月日: 昭和24年3月2日 国立群馬工業高等専門学校 卒

日本コロムビア・相鉄建設・すが義偉(現衆議院議員)事務所長

かじむら 充 Twitter (日々つぶやいています) ホームページ www.m-kajimura.com から

ご意見をお寄せください E-mail office@m-kajimura.com FAX 045 (806) 1053